

大津町立大津小学校 研究だより



第8号
平成29年5月28日
大津小学校研究部
文責 志賀 裕美

本校では、文部科学省の研究開発学校指定を受け、平成26年度から4力年計画で新教科設立を目指す研究開発を行っています。本年度は、いよいよ最終年度となりました。

この3年で、本格的に授業実践をすすめた「生活数理」。本年度は、これまでの実践をさらに磨き上げ、新教科設立に向けて研究開発を行っていきます。その中で、中心となるのは、身近な素材から創造する新しい教材に子どもたちが目を輝かせて取り組むことで、思考力・判断力・表現力を高めていくことです。昨年度の「生活数理」でも、すべての学年で、課題を追究するために考える子どもたちの生き生きとした姿、主体的に思考・判断・表現する姿が見られました。本年度も、そのような子どもたちが輝く姿が見られるよう頑張ります。

この「研究だより」では、「生活数理」について、内容や子どもたちの様子をお知らせしていく予定です。今回は、今年初めて触れられる保護者の皆様にもわかっていただけるように、「生活数理ってなあに？」という疑問に答えていきたいと思います。

1 新教科名

「生活数理（せいかつすうり）」

2 年間授業時数

現行教育課程を見直し、次のように生活数理の年間授業時数を設定しました。

第1学年	10時間	第2学年	15時間
第3学年	30時間	第4学年	30時間
第5学年	35時間	第6学年	35時間

※「生活数理」に各教科等と関連性のある学習内容を設定することにより、これまでの授業時数からそれぞれの学年の「生活数理」の授業時数を生み出しました。各教科等の内容を「生活数理」の中で関連的に扱うため、各教科等の学習がおろそかになるということはありません。

3 「生活数理」について

「生活数理」ってどんな教科？

「生活数理」は、課題を実際の生活の中から取り上げ、算数で学んだことを生かして課題を解決する過程において思考・判断・表現していく活動を重視する教科です。

「生活数理」で身に付くのはどんな力？

豊かな生活を創造するための数学的、科学的な思考力・判断力・表現力

- ① 数理的な処理を必要とする課題を見付け、見通しを持つ力
- ② 数理的な処理をもとに情報を選択・分析する力
- ③ 数理的な根拠をもとに主張する力
- ④ 数理的な処理や生活経験をもとに意思決定する力
- ⑤ 数理的な処理をしたり根拠を持ったりして主体的に課題解決しようとする意欲

「生活数理」のよさは？

- ・目的達成のために、より主体的に算数を活用する経験を積める。
- ・有用性を実感できて算数をより好きになり、算数の学力も向上する。

「生活数理」の問題と解決の例（大人向けの例）

問題（生活数理）



大津小学校に午前7時30分までに着かなければなりません。

何時何分に自宅を出発すればよいでしょうか。

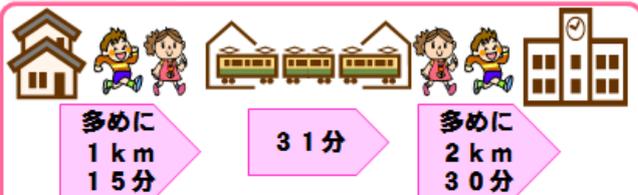
※算数と比べて、「生活数理」は、より生活に密着した問題となります。

解決1 「利便性」で自動車を選択



式) $20 \div 30 = 2/3$
 $2/3$ 時間 = 40分
A. 6時50分に出発

解決2 「正確性」で徒歩と電車を選択



式) $15 \times 3 = 45$ $45 + 31 = 76$
71分 = 1時間16分
午前6時14分出発 でも・・・
A. 電車の時刻の関係で 6時10分出発

「生活数理」の特徴

- 多様な方法を選択、分析のために算数を活用
- 分析結果を比較、多様な意思決定
(答えは一つではない)
- 実践の振り返りで学びの有用性を実感
- 実生活に直接生かせる

※多様な考えを比較して、最終的に本人の価値観を含めて意思決定します。